

## 塗言録

高齢化が進むなかで経済の活性化を図るのには、女性の働き手を増やすことが

観点から労働条件を整備すると共に個々の能力に応じた働き方ができる環境を整えた▼また女性従業員が出産、家族の介護などで時間的、体力的に

重要になってくる。わが国の場合、女性の労働力率は低く、出産を経験した女性が職場に戻りやすい環境をつくることが急務である▼厚生労働省は、子育てを社会全体で支えるため市町村が主体となり、制度の円滑な運営を図るよう支援している。すでにこの制度は、そのサービス整備が進み全国的に広がりを見せている▼長岡塗装店(松江市・建築塗装)は、働きやすい環境・制度に取り組む企業として、さき

日本テレビで紹介された。同社は、一時若手の人材確保と定着に苦慮し、技術の伝承に危機感を抱いていた。そこでベテラン職人の技能を若年従業員に受け継ぐため若年者の定着、育成という

制約される事態になった時も育児短時間勤務や子供の看護休暇など従業員に置かれている状況に合わせた働き方を採り入れた。休暇をとれば誰かが、その代わりに仕事をすることになる。このため前もって支障のないように仕事の段取りをしておかなければならない▼いわゆる、「作業のマニユアル化」である。そのことが仕事のトラブルの発生を防ぐと同時にいざという時、誰でも対応できるという利点にもなる▼働きやすい職場づくりに向け保育料や介護サービス料の補助制度なども整い、この5年間、退職者は皆無である。安心して働ける環境に従業員の士気は高まり業績も向上している。